

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ヘリテージ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ヘリテージ

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：プライム・タイム

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

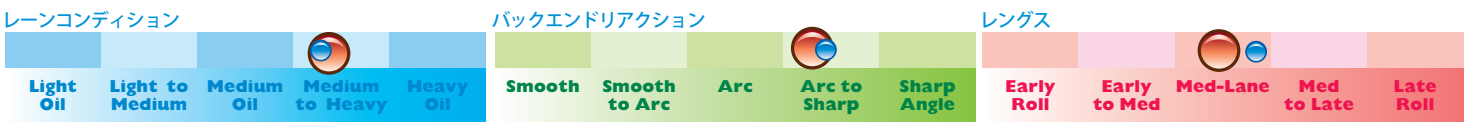
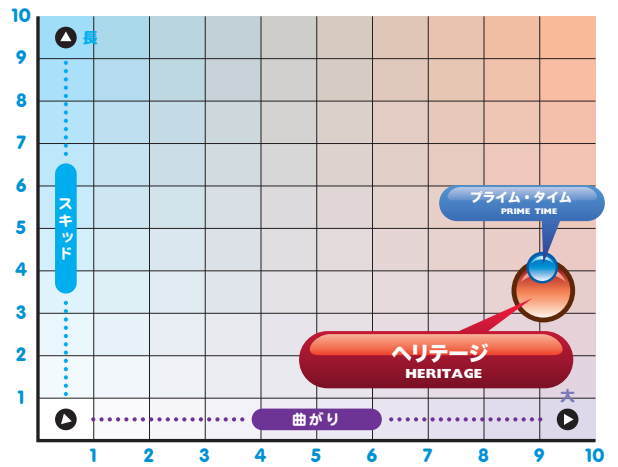
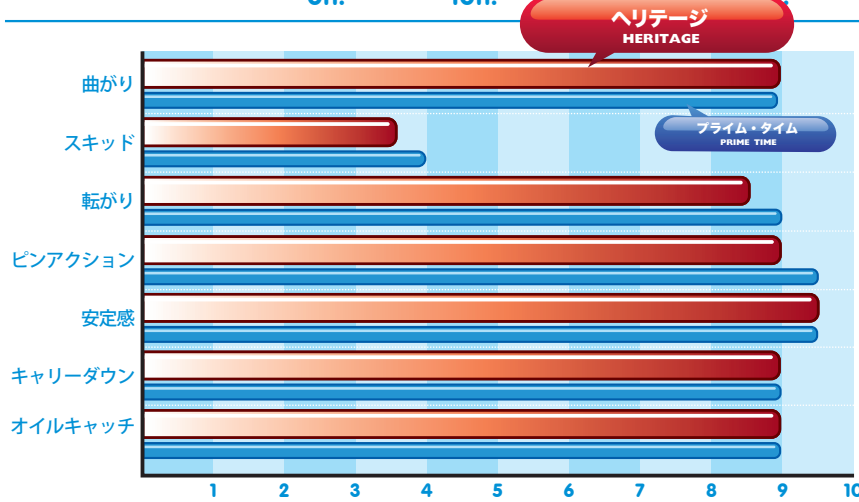
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

PRO-amの再構築をはかり、2012年初代INVADERを発売以来、ABSボール開発チームは∞インフィニティコアを使用し、様々なINVADERシリーズを輩出してきました。その後そのINVADERの領域を担うためにコアテクノロジーからカバーストックまで一新されたPRIMEを始動しましたが、最後のINVADER PHOENIX(2020年2月)発売以降もABSボール開発チームとPRO-amケミカル責任者は共に新たな領域への歩みを進めていました。ここで今までの伝統と功績をPRO-amとABS双方の財産と出来るように新たなブランド”HERITAGE”をリリース致します。

PRIMEとPRIME TIMEで求めた先の動きは、時に手前の走り感を強く感じすぎてしまうことがあります。HERITAGEはその部分に大幅な改良を加え、走りを抑えながら先の動きも両立できるPRO-amだけのオリジナル配合のカバーストックで形成されています。先で動きを出すためにはバックエンドまでエネルギーを残すことが必要不可欠になりますが、その分オイルの使い方によっては走りを強く感じすぎてしまうことがあります。HERITAGEに搭載されている新ブレンドのカバーストックはPRIMEとPRIME TIMEの間の領域になりますが、オイルの上のブレーキ感が一番強く、今までPRIMEとPRIME TIMEで減速できなかったオイルでも捉え、PRIMEシリーズと同等のシャープな切れ味が実感できるボールに仕上がっています。私は今までPRO-amのボールをいくつもテストしてきましたが、光沢がある表面加工でこれほどブレーキを感じるカバーはなく、時に手前のオイルが薄い場合、手前で曲がりを感じてしまうことも見受けられました。HERITAGEのコアは∞インフィニティコアでも次世代のテクノロジーを採用しており、全く別次元のボールに仕上がっています。

特記事項

HERITAGEはPRO-amブランドの中心的な役割として、新たなテクノロジーを搭載して生まれました。PRIMEやPRIME TIMEで手前が進みすぎた方にはぜひ使用して頂き、次元の違いを感じてほしいと思います。